

平成 25 年（2013 年）6 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（2 日目）

平成 25 年 6 月 13 日（木）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	<p>山川 典二 (自民・無所属 ・改革の会)</p> <p><b>質問方式</b> 総括質問方式 (演壇・質問席)</p>	<p>1 天然ガス資源開発事業について</p> <p>2 本市独自の“ゆるキャラ”の製作について</p>	<p>沖縄県が進める天然ガスの資源開発事業について問う</p> <p>(1) 全体の事業概要と計画について伺う</p> <p>(2) 天然ガスの利活用の現状と課題は何か</p> <p>(3) 昨年 12 月、沖縄県は平成 25 年度事業実施を目指し天然ガスの試掘地に那覇市奥武山、南城市大里字仲間、宮古島市城辺保良の 3 カ所を決定した 試掘調査事業の内容と現況を伺う</p> <p>(4) 本市における天然ガス資源活用化の具体的な可能性と取り組みについて問う</p> <p>熊本県のサプライズ特使で営業部長の“くまモン”は今や追っかけが出るほどの全国的人気者だ。関連グッズの一年間の売り上げは 300 億円を超え、経済波及効果は約 1000 億円に上る 「2011 ゆるキャラグランプリ」に輝いた後、熊本県ブランド推進課の営業販売促進戦略が見事に成功した例として本市も研究する必要があると考える 国際観光都市を標榜し、観光立県をリードする使命を持つ県都・那覇市として、アジアを始め海外にも通用する“ゆるキャラ”の登場が期待されるところだが、当局の取り組みなど見解を問う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（2日目） 平成25年6月13日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	<p>前田 千尋 (日本共産党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)</p>	<p>1 子ども医療費助成制度の拡充について</p> <p>2 いのちを守るワクチン接種行政について</p> <p>3 市民の相談に対応する体制の強化について</p>	<p>(1) 「子ども医療費助成制度」の果たしている役割について問う。全国の中核市と那覇市における制度の比較について問う</p> <p>(2) 那覇市は「子ども医療費助成制度」について、通院分も中学校卒業まで拡充すべきである。当局の見解を問う</p> <p>(3) 病院窓口での無料化(現物給付)について、全国の実施状況を問う。那覇市は県と連携をとって、現物給付制度を導入すべきである。見解を問う</p> <p>全国的にも風疹が流行している。その中で那覇市では風疹ワクチン接種費用の助成を行なった</p> <p>(1) ワクチンの効果と、助成内容について問う</p> <p>(2) 風疹の拡大を防ぐためにも、より多くの市民が接種できるようにしなければいけない。見解を問う</p> <p>(3) 啓発広報活動の強化について問う</p> <p>那覇市は、性暴力被害者の相談から治療など必要な支援を1カ所で365日24時間いつでも対応できる「ワンストップ支援センター」の設置の支援を行うべきである</p> <p>また、配偶者等からの暴力・DV相談のための「配偶者暴力相談支援センター」を早期に設置すべきである。見解を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>4 浸水常襲地域の解消について</p> <p>5 久茂地小学校・前島小学校の統廃合問題の撤回を求めることについて</p>	<p>壺屋一丁目と牧志三丁目にある浸水常襲地域は、これまでも再三、大雨が降るたびに浸水の被害を繰り返してきた。10年以上もかけて、浸水解消のための手立てを訴えてきた。</p> <p>先日の大雨の際にも、あと5cmで浸水する危険があったと住民から不安の声が届いている。市民が安心安全に暮らすためにも早急な浸水解消の実現が求められている。いつまでに実現できるのか、進捗状況を問う</p> <p>久茂地小学校と前島小学校の統廃合計画は、地域住民や当事者であるこどもたちの「学校を残してほしい」との願いを無視し、強行している。住民合意のない学校統廃合計画は撤回すべきである。見解を問う</p>
			<p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、関係部長</p>



一般質問（2日目） 平成25年6月13日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	<p>前泊美紀 (無所属)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)</p>	<p>1 環境教育について</p> <p>2 中小企業振興について</p> <p>3 労働行政について</p> <p>4 交通行政について</p>	<p>学校における省エネ教育の一環として、各学校で光熱水費等の削減に取り組んだ結果、削減した光熱水費の半額相当をその学校に還元する「フィフティー・フィフティー」事業について、過去に本議会で取り上げられており、その際、教育委員会は「学校現場の要望や先進地の事例等を参考にしながら、本市において導入できるシステムを調査研究していきたい」と答弁している。以下、伺う</p> <p>(1) その後の調査研究の進捗と取り組み</p> <p>(2) 他市町村の事例</p> <p>「那覇市中小企業振興基本条例」が平成22年12月に制定された。条例を活かし、中小企業の振興を図るため、どのように取り組んでいるか</p> <p>「コールセンター人材育成及びマッチング支援事業」における「コールセンター雇用実態調査」について伺う</p> <p>(1) 調査の目的と方法、結果</p> <p>(2) 調査結果を今後どう活かしていくか</p> <p>松城中学校の生徒たちが平成22年2月に、「那覇バス寒川線（系統番号15番線）の増便について」等2件の陳情を市議会に提出、全会一致可決した。その後の市の取り組みについて伺う</p> <p>(1) 同年9月定例会において、市の対応を質問したところ、「交通基本計画や公共交通総合連携計画へ反映させるため、那覇市都市交通協議会等での協議を行っていく」旨の答弁があった。その後の進捗を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(2) 「那覇市内観光周遊バス実証実験事業」でのルート案検討の初期段階では、生徒たちがバスの増便を望んだ金城ダム通りがルート案の一部に入っていた。6月1日に開始した同実証実験のルートでは、金城ダム通りがルートから外れている。変更理由は何か</p>
			<p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、関係部長</p>



順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 生涯学習施設の運営について	<p>(1) 新庁舎移転に伴う銘苅庁舎の運用状況はどうなっているか</p> <p>(2) 那覇北地区への図書館・公民館設置構想は、その後どうなったのか</p>
			<p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（2日目） 平成25年6月13日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	<p>翁長 俊英 (公明党)</p> <p><b>質問方式</b> 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>郵政行政について</p>	<p>(1) 国道329号、一日橋地域には以前に郵便ポストが配置されていた。いつの間にか撤去されている。地域住人は一キロ先の郵便局まで行き不便を感じている。撤去された理由は何か問う</p> <p>(2) 高齢化社会の進展に伴って、様々な分野で高齢者に対応した、社会の形成、生活環境の整備が重要になってくる。郵便ポストの配置のあり方もそのひとつである 一日橋、上間交差点周辺地域 県営上間団地自治会等から近くに郵便ポストの設置の要望がある。市民生活の福利厚生、利便性の意味からも那覇市当局から日本郵政株式会社沖縄支社に設置の要望をすべきだと思いが、見解を問う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、関係部長</p>